

4/26

(日)

2026年度 OPEN CAMPUS

白梅アーリー入試
対象

模擬授業テーマ

子ども学科

[安倍大輔先生](#)

子どものからだの成長と運動発達について

子どもは生まれてから急速に成長していきます。その中でも子どものからだがどのように育っていくのか。また子どもが立って歩いた後にどのように様々な運動発達をしていくのかについて講義します。

子ども心理学科

[倉澤寿之先生](#)

心理学の考え方

何となく神秘的で他人や自分の心の奥底を見せてくれそうに思われがちな心理学ですが、実際のところは客観的な考え方に基づいた科学です。私たちの認識の癖を示す具体例をもとに心理学の考え方を紹介します。

教育学科

[中林俊明先生](#)

ICTを活用した授業を体験しよう(小学校理科)

学校教育ではICTを活用した教育活動が一層重視されてきています。今回の模擬授業では小学校第6学年「電気の利用」の単元でWe Doを利用した授業例を実際に体験してもらいます。

短期大学 保育科

[浅野涼太先生](#)

身近な生き物を観察することの意義

私たちの身の回りには多くの生き物が暮らしています。本企画では、生き物の魅力や遊びを通して自然への理解を深めます。屋外(構内)に出る場合もあります。

5/24

(日)

2026年度 OPEN CAMPUS

白梅アーリー入試
対象

模擬授業テーマ

子ども学科

井原 哲人 先生

「NEW KAWAII」で福祉論

「NEW KAWAII」の世界観から福祉のコアにせまります。
「classic KAWAII」からアップデートされたものは何か、「NEW KAWAII」を発揮できるような支援を検討し、子どもの貧困や虐待等に取り組む現代の福祉の役割を考えます。

子ども心理学科

川島 亜紀子 先生

子どもたちは『こころ』とどう付き合っているのだろう？

この模擬授業では、子どもの感情の発達について、実験をしながら楽しく学びます。子どもの行動の背景にある心理学的な取り組みを知ること、子どもを支援する視点を身に付けたり、心理学の考え方に触れたりすることができます。

教育学科

三藤 敏樹 先生

学校の先生になるには？

「人を育てる・自分も育つ」仕事である学校の先生とはどのような仕事か、それを目指すには何が必要か、そのために学生時代をどう過ごすか、ともに考えていきましょう。

短期大学 保育科

佐藤 厚 先生

ことばを紡いであそぼう！ ～ことばあそび・劇あそび～

一つのことばから想像するあそびは豊かな感性を育みます。ことばあそびや劇あそびで、ひらめきと工夫を楽しみながら、創造的な表現あそびの世界を体験してみましょう。

6/21

(日)

2026年度 OPEN CAMPUS

白梅アーリー入試
対象

模擬授業テーマ

子ども学科

本山 方子 先生

おとなにとっての「子ども」の存在
～保護と自立のはざままで～

おとなは子どもを無垢な存在として「かわいがる」こともありますし、無防備な振る舞いを「しつけ」ようともします。子どもはおとなに監督され保護される存在なのか、それとも自立を尊重される存在なのでしょう。本授業では、著名な物語を題材に、おとなと子どもの関係を考えます。

子ども心理学科

佐久間 路子 先生

けんかするほど仲がいい？ ～子ども心理と保育～

子どもの心の発達について解説した上で、子どものいざこざの場面を取り上げて、子どもの思い、友達の思いについて考えていきます。仲間との関係の中でなにを「学ぶ」のか、一緒に考えてみましょう。

教育学科

咲本 英恵 先生

ことばとはなにか
～『呪術廻戦』をトピックに～

私たちは小学校時代から「国語」の授業をとおして〈ことば〉を学びます。でも、それはなぜでしょうか。コミュニケーション能力を養うため？ それだけでしょうか。少し視野を広げ、〈ことば〉の持つ力について考えてみましょう。

短期大学 保育科

源 証香 先生

乳児の保育 ～魔の2歳児は本当に“魔”なのか～

2歳児は「イヤイヤ期」や「魔の2歳児」といわれますが、本当にそうでしょうか。子どもの視点に立ってみると、こんなにも豊かな世界が広がっていることがわかります。子どもの姿から一緒に考えてみませんか。

7/5
(日)

2026年度 OPEN CAMPUS

白梅アーリー入試
対象

模擬授業テーマ

子ども学科

牧野 晶哲 先生

修復的対話を用いた学校でのいじめ予防プログラム

増え続けるいじめの認知件数に対し学校では様々ないじめ対策をしています。今回は教員も学生を引率するなどして取り組んでいる修復的対話によるいじめ予防プログラムを学ぶとともに体験してみましょう。

子ども心理学科

杉山 貴洋 先生

手作りおもちゃで考える子どもの発達と遊び

手作りのおもちゃを作るミニワークショップを通じて子どもの発達と遊びの関係について考えます。

教育学科

鬼頭 七美 先生

漢字の面白さを体感しよう～小学校の漢字指導～

小学生の国語のなかでも漢字は必須事項です。しかし、漢字が苦手な教員志望の学生が多いのも事実です。そこで、学生自身の漢字の苦手意識を克服してもらうために、漢字を覚える意義や漢字の面白さについて体感しましょう。

短期大学 保育科

小松 歩 先生

一人ひとりの違いをどうとらえるか考えよう

一人ひとりの子どもを理解することが保育の出発点です。また最近ではインクルーシブな保育が大切とも言われます。一人ひとりに応じる保育をする上で、違いをどう理解したらよいのか考えてみましょう。

7/26

(日)

2026年度 OPEN CAMPUS

白梅アーリー入試
対象

模擬授業テーマ

子ども学科

五十嵐元子先生

発達障がいの子どものたちの世界をのぞいてみよう

発達障がいのある子どもたちは、どのように世界を感じているのでしょうか。この授業では、発達障がいがある子どもの感じ方を「体験」しながら、その子らしさを大切にする保育について一緒に考えていきます。

子ども心理学科

宮田まり子先生

保育が世界を変える時

保育への関心の高まりと、実際の保育場面における子どもの育ちと保育者の役割、子どもと共に作り出される新たな世界について、ご紹介したいと思います。

教育学科

橋本陽介先生

学校生活が楽しくなる教材を作ってみよう！ ～特別支援学校編～

特別支援学校には「日常生活の指導」という時間があります。給食後の「歯磨き」が楽しくなる教材を作ってみましょう。

短期大学 保育科

安形元伸先生

福祉とはなにか？保育とは何か？ について考えてみませんか

みなさんは福祉と聞いてどのようなイメージをおもちでしょうか。福祉と保育について身近なことから考えてみたいと思います。